

田上町議会だより

第84号

■平成22年4月23日 発行



竹の友幼稚園入園式

梅林公園の紅梅

12月臨時会・1月臨時会・3月定例会・請願・意見案2~3P
一般質問4~10P
平成22年度予算11P
予算審査特別委員会審査報告12~13P

常任委員会付託案件審査報告14~15P
所管事務調査報告16P
後期高齢者医療広域連合報告・一部事務組合報告17P
議員の活動あれこれ／編集後記18P

スタートする
交流と教育のまちづくり

平成22年度一般会計予算
42億1,700万円可決



▲本会議初日

議員発議による意見書

意見案番号	件名	提出議員	議決結果	意見書提出先
意見案第1号	「ヒロシマ・ナガサキ議定書」のNPT再検討会議での採択に向けた取組を求める意見書	熊倉良平 小野澤健吉 児玉輝男 関根一義 川口與志郎	原案可決	衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 総務大臣 外務大臣

請願

請願番号	件名	請願者の住所・氏名	審査結果	意見書提出先
請願第1号	350万人のウイルス性肝炎患者の救済に関する意見書採択の請願	新潟市江南区天野2-1-13 カルテのない薬害C型肝炎の 全員救済を求める新潟の会 代表 久保紀子	採択	衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 法務大臣 財務大臣 総務大臣 厚生労働大臣

定例会の経過

本会議

- 諸般の報告
- 平成22年度予算案上程
(町長施政方針演説・予算審
査特別委員会設置及び付託)
- 同年度予算関連議案上程
その他議案上程等が行われました。
- 総務産経常任委員会**
- 専決処分(除雪対策費追加)
- 田上町本田上工業団地工場
設置促進条例の制定
- 田上町工場設置促進条例の
廃止
- 田上町道路線の認定・変更
- 平成21年度田上町一般会計
補正予算
- 同年度田上町下水道事業特
別会計補正予算
- 同年度田上町集落排水事業
特別会計補正予算
- 社会文教常任委員会**
- 田上町後期高齢者医療に関
する条例の一部改正
- 平成21年度田上町一般会計
補正予算
- 同年度田上町国民健康保険
特別会計補正予算
- 同年度田上町介護保険特別
会計補正予算
- 一般質問(7人登壇)**
- 議案審議
- 委員長報告・質疑・討論・採決
- 予算審査特別委員会**
- 条例に関して
- 制定3件・一部改正6件廃
止2件
- 平成22年度田上町一般会計
予算
- 平成22年度より学童保育
事業は保健福祉課から教育
委員会の管轄に移行
- 同年度田上町各特別会計予算
- 本会議(最終日)**
- 議案審議
- 委員長報告・質疑・討論
採決

平成21年第9回臨時会

期日 平成21年12月24日
竹の友幼児園入園申込み状
況から、2歳児の申込み数が定
員を超えた為、2歳児保育室前
の遊戯室を仕切り保育室とす
る議案審議です。

平成22年第1回臨時会

期日 平成22年1月14日
新型インフルエンザの予防接
種に、県からの補助金に加え、町
も助成する経費を1千735万5
千円の追加補正議案を審議す
るものです。

- ◆議第1号 幼児園建設建築
本体工事変更請負契約につい
て
- ◆議第2号 幼児園建設電気
設備工事変更請負契約につい
て
- ◆議第3号 幼児園建設機械
設備工事変更請負契約につい
て
- ◆議第4号 幼児園建設外構
工事変更請負契約について

いずれも原案可決

- ◆議第1号 平成21年度田上
町一般会計補正予算(第9号)
原案可決



▲4月に開園した竹の友幼児園



渡邊 正策 議員

町長 平成22年度の維持補修等の要望件数は193件、事業実施予定は29件、率で15%です。地区要望の取りまとめは、各区長

町民は、漸く地域住民の目線に近い行政が行われるとの実感を受け止め、期待しております。地区要望状況を明らかにし、区長会などで要望された事業についてきめこまかい説明と、納得して協力が得られるよう進めて頂きたいと考えます。

生活関連事業の 施行は地域と 密接な協議を

問 平成22年度の予算で町民生活に支障をきたすと思われる生活関連事業の実施方針が示されました。

町長 第5次町総合計画では、どの程度の人口を目指しているのか、また、真の自立した町づくりには、人口の維持確保が基本です。

町づくりには 町民を巻き込んで

子供を含めた、64歳以下の働き盛りの人口が、この5年間で

からの要望概要をいろいろ聞き、最終的には各地区での緊急性・必要性・投資効果等を十分考慮し、限られた財源の中で優先順位を決め、予算付けをしています。予算が議決された時点で、各地区に対し工事個所の連絡は例年行っています。今後とも町民の生活に支障を来さない範囲で地区の要望に答えて参りたいと考えております。



▲田上小学校卒業式

私が町づくりと言っているのは、まさに云われるように「地域住民を巻き込む」ということで、町政に関心を持ってもらう、あるいは町の事業に率先して参加してもらうなど、この田上町の現状を理解して頂き、町づくり計

町づくりの 施策には 他自治体の 事例も参考に

町長 資料提示の下條村と田上町では多々環境条件の違いがありますが、町づくりの基本となる考え方は、大いに参考にさせて頂きたいと思っております。

町長 目標人口は、毎年100人ぐらゐが減少している状況です。第5次総合計画の中で十分検討し、定めて参ります。

画に参画していただけるように対応して参ります。



川口 與志郎 議員

地球温暖化抑止と 私たちの すべきことについて

問 「地球の温暖化は疑う余地がない」「人類が排出してきた温暖化ガスの濃度の上昇が気候変動の原因であることはほぼ確実である」「気候変動の速度と規模によっては、突然のあるいは、非可逆的現象が引き起こされる危険がある」

国際連合の「気候変動に関する政府間パネル」による「第四次評価報告書」は世界中の科学者の知見を結集して、深刻な結論を導き出しました。他人事ではありません。全世界の人が誰かがやってく

れると考え、みんなが何もしなければ破局が訪れます。多くの国々や人々が、この困難と戦っています。

町長 温暖化による自然環境異変については、テレビ等で氷河が解けて崩れ落ちる映像、あるいは、国内では稲作の作柄、米の品質に変化が現れ始め、国内で最もおいしいと言われてきた新潟産コシヒカリが、北海道産さらに追いつかれ始めてきているといったことも言われております。

田上はどうしたらよいか、町民も含めて町全体で化石燃料に頼らないようにすることを実行することだと思えます。再生可能なエネルギーの活用、太陽光発電などを推進していきます。

「核兵器のない 世界を」めぐって

教育長 学校への太陽光発電装置の設置について、教育委員会も環境教育の重要性を認識しており、平成25年度から年次計画で学校への設置を考えております。

問 核兵器を無くすための運動は、アメリカのオバマ大統領の09年4月5日のプラハの発言後大きく前進しました。要旨は「核兵器を使用したことのある唯一の核保有国、米国には行動する道義的な責任がある。米国が核兵器のない世界の平和と安全を追求する決意であるこ

とを、信念を持って明言する」このことについての町長の見解を求めます。



▲太陽光発電



関根 一義 議員

用地分譲価格の取り扱いは、検討も含め、農工法にとらわれない有効利用として、地元企業の進出や農工商連携関連施設など多様な産業に売却も含め、分割払い、あるいは貸出借地という大胆かつさまざまなプロポーザルを講じていきたい。

町長 予算をあまりかけずに、将来的には生涯学習センターの設置を予定しておりますので、利用状況を見ながら追加整備をします。

町長 大人の向けと子ども向けの図書コーナーを作り、世代を超えて交流できる場にする考えです。

町長 竹の友幼稚園と連携した、子供中心の施設にできませんか。



齋藤 勲 議員

竹の友幼稚園跡地は子供中心に

町長は「当分の期間、学童保育と図書コーナーで活用したい」と述べていますが、当分の期間とはどのくらいですか。

町長 予算をあまりかけずに、将来的には生涯学習センターの設置を予定しておりますので、利用状況を見ながら追加整備をします。

町長 大人の向けと子ども向けの図書コーナーを作り、世代を超えて交流できる場にする考えです。

町長 竹の友幼稚園と連携した、子供中心の施設にできませんか。

町長 大人の向けと子ども向けの図書コーナーを作り、世代を超えて交流できる場にする考えです。

町長 補助金を受けて基準財政需要額に算定されるかどうかを含めて研究します。

町長 施設の利用のため、団体や個人から参考意見を聞く考えはありますか。

町長 個人や特定の団体の利用を考えていないので、教育委員会ですら判断します。



▲親子と子どもの居場所として生まれ変わる竹の友幼稚園

本田上工業団地の有効活用策

町長 各課において副町長直属のプロジェクトチームを立ち上げ、要綱の整備を行いチームに総括者を置き、今までの反省に立つて動けるプロジェクトにする。

町長 用地分譲価格の取り扱いは、検討も含め、農工法にとらわれない有効利用として、地元企業の進出や農工商連携関連施設など多様な産業に売却も含め、分割払い、あるいは貸出借地という大胆かつさまざまなプロポーザルを講じていきたい。

観光資源のネットワーク化と「遠足のまちづくり検討委員会」のあり方

町長 12月議会、「人材活用と町民参画の協働まちづくり」を提起した。

町長 既存の観光資源、町おこし諸団体の活動、新たな観光資源の創造などを集約したネットワーク化は重要だ。

町長 施設方針では、その推進母体として「遠足のまちづくり検討委員会」を設置するとしているが、自立のためのまちづくりとして位置付けるならば、「町づくり」「観光事業」「産業振興」を二元化した体制づくりが有効であり重要ではないか。

町長 検討委員会には、まちづくり事業の進行管理あるいは評価により、計画・イベント実施な

早急に中小河川の整備を

町長 施設方針で小河川の整備などを述べています。関係住民は我慢も限界です。早急の対策を求めます。

町長 都市計画が行政の責任との指摘ですが、当町の地形的な面もあります。

町長 羽生田川、新田堀、原ヶ崎川、新川などの例を上げていますが、許容量を超えた雨量に対応できないことがあります。今後改善に努力します。

保育所の解体について

町長 保育所を全て解体する予定ですが、避難所にも指定され

町長 相互の調整・情報交換の場となることを期待する。また検討委員会には経験のあるアドバイザーの助言・協力を求める。

町長 遠足のまちづくりのキーワードは協働と交流、町民参画、町と住民の交流というまちづくりを第一の目的としたもので観光産業振興に限定したものでない。

戸別所得補償モデル対策と転作作物の推進

町長 県は農産物の加工、流通、販売までの総合的組み合わせをもった、農業の第六次産業の育成を掲げ支援施策を打ち出している。県農政への対応が問われるだろう。

町長 戸別所得補償モデル対策の評価と推進の考えは、また転作の生産振興の具体策は何か。

町長 過去40年余り続いてきた生産調整は、生産者の間で

財政調整基金は大丈夫か？

町長 昨年の12月の区長会で地区の取りまとめをお願いしました。避難場所については重要課題として検討します。

町長 平成22年度から多くの事業が実施され、平成25年度には財政調整基金は僅か4千万円余りです。財政運営に心配はありませんか。

町長 また未利用地を売却する考えはありませんか。

町長 現時点では問題のない計画と思っております。未利用の有効活用は条件が整えば実施します。

急務な介護職員の処遇改善

町長 不公平感、あるいは生産転換が必ずしも円滑に進まない状況をもたらしてきた。今後は戸別所得補償モデル対策を推進し、農業者が主体的に、また創意工夫の発揮を促し、個々の施策を展開していく。県農政については、今後研究をしていく。

町長 深刻化する介護問題を社会全体で支えるシステムの二つとして、介護職員の処遇改善が急務である。町内事業所の「介護職員処遇改善交付金」の申請実態と活用状況の把握はどのようになっているか。

町長 町内には、4介護事業所がある。介護職員処遇改善交付金の申請は3事業所が行っている。活用については、給与本体の改善でなく、手当として支給している把握している。



小野澤 健吉 議員

町長 五明寺トンネル工事については、新年度予算には国の交付金事業を活用してトンネル整備のための委託費用を計上しております。過去にも議論・討論がされた経過があるが実現に至

問 施政方針によると、町道坂田・湯川3号線の五明寺トンネル工事を25年度完了を目指し、実施設計の準備を進めるとあるが、過去にさかのぼって見直しをして、トンネルでなく天下の公道に改修すべきと考える。当然にしてゴルフ場側との交渉が必要となるがその考えがあるかどうか。



▲五明寺トンネル

問 施政方針にはないが、県道新潟・五泉・間瀬線の湯田上地内の道路拡幅問題は、地域住民との幾度かの協議を続けたが中断となっている。その間に山田川の改修工事が進んで自然的に道路の拡幅の条件が出て来た。残りは河川改修の末端から旧かつみ荘脇までの180mを河川の延長を願い、道路を併設することが最良の方法と考える。それらの事が関係機関で検討されていると聞くが、是非そうあってほしい。



▲湯田上地内の道路

一般質問



池井 豊 議員

施政方針について

問 施政方針は簡略になり、「取組む重点施策及び各会計予算の大綱」と「各費目の主要事業」の二項目に分けて説明していますが、何か狙いはあるのでしょうか。

町長 わかりやすく整理したつもりでありますので、やはりこういった説明は余り長くないほうがいいというのは、私の率直な考え方でございます。

水害対策関連事業について

問 施政方針で「水害対策関連事業」は、しっかりと触れられ

ています。今年是小河川の問題を前年に増して取組んでいくのかを伺います。

町長 小河川の維持管理につきましては、さらに徹底いたしまして、緊急を要するものは即刻対応する体制で、町民生活に支障とならないように努めてまいります。

第5次総合計画の策定について

問 今年に総合計画の策定の年です。一般公募も含めた住民参加のワークショップも行い策定してはどうでしょうか。

町長 今回も一般住民の公募をお願いしたいと思っております。懇談会等も計画し、町民の意見が反映できるような総合計画にしていきたいと思います。

文化的教育のビジョンについて

問 「竹の幼稚園跡地の利用」「生涯学習センターの位置づけ」「原ヶ崎エリアのゾーンニング」等その関連性を見てもビジョンのかけらも感じられません。田上町の文化的教育の将来像をお示し下さい。

教育長 地区二帯を文教地区として再開発すると示しております。運動公園は総合型地域スポーツのフィールドにしてはと話題にしながら、議論しています。二帯を教育的施設として、ゾーンとして考えて計画してまいります。

遠足のまちづくりについて

問 全体のイメージを明確にして下さい。住民にとってどんなメリットがあり、事業効果の予測をお示し下さい。

町長 町民の方から積極的にまちづくりに参加していける形を作ることが大切です。「協働と交流」をキーワードに、町と住民の協働、町民同士、参加者と町民との交流を進め、活性化に結びつくことを期待しています。

農商工連携について

問 農商工連携の具体的事業と効果をお示し下さい。

町長 経営資源、ビジネスのノウハウを持ち寄りながら連携をして、新商品開発、新たな市場の開拓の効果が期待される場所があります。

平成22年度施政方針から

りませんでした。今後議会と討論することも、当然ゴルフ場側との協議も必要と考えております。

県道新潟・五泉・間瀬線の湯田上地内の拡幅について

町長 道路拡幅問題は山田川改修によつて県道と平行している区間は河川改修工事と同時に施行で整備改良される予定、残る区間は一部地権者の理解を頂けない状況であり中断の状態です。現在県では図上でルートや勾配等の関係について検討作業を行っていると聞いております。

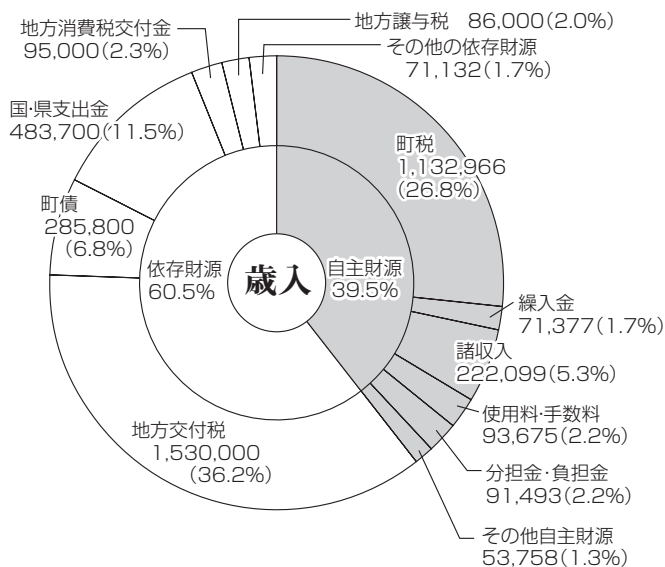
あくまでも事業化できる可能性があるかどうかの作業ですが今後何か動きがあれば、地元や議会とも検討が必要と考えております。

平成22年度各会計当初予算

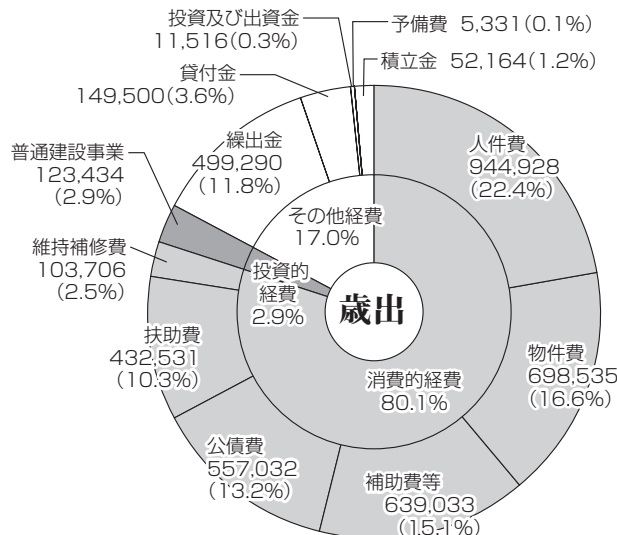
一般会計 42億1,700万円

注：構成比は100パーセントに合わせるための端数調整をしています。

歳入予算財源構成比 (単位:千円)

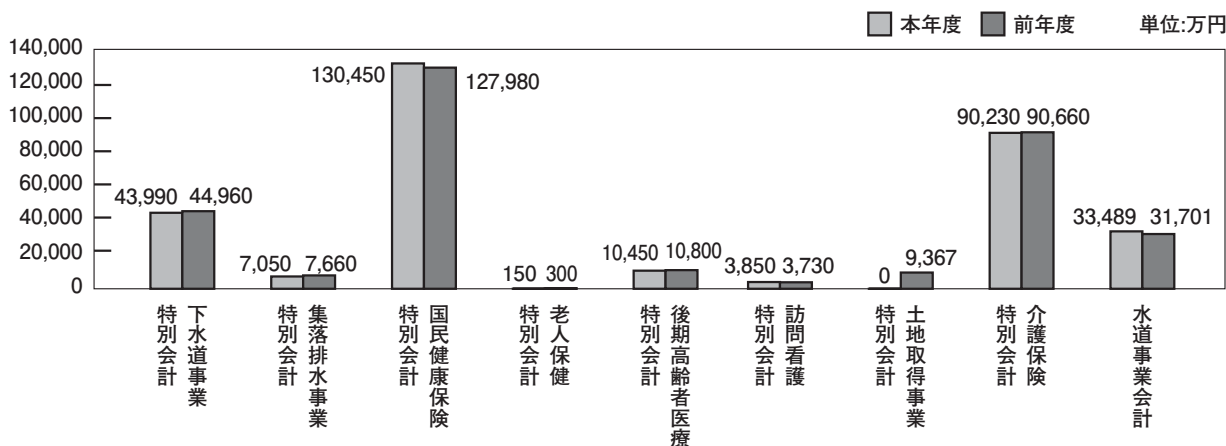


性質別歳出予算構成比 (単位:千円)



特別会計予算

区分	本年度	前年度	増減
下水道事業特別会計	4億3,990万円	4億4,960万円	△970万円
集落排水事業特別会計	7,050万円	7,660万円	△610万円
国民健康保険特別会計	13億450万円	12億7,980万円	2,470万円
老人保健特別会計	150万円	300万円	△150万円
後期高齢者医療特別会計	1億450万円	1億800万円	△350万円
訪問看護事業特別会計	3,850万円	3,730万円	120万円
土地取得事業特別会計	—	9,367万円	皆減
介護保険特別会計	9億230万円	9億660万円	△430万円
水道事業特別会計	3億3,489万円	3億1,701万円	1,788万円
合計	31億9,659万円	32億7,158万円	△7,499万円



一般質問



中野 和美 議員

認知症への理解について

問 介護を家族と介護士任せにせず、勉強会などを取り入れ、地域も理解を深める事が大切です。人と接しないで行くと認知症はどんどん進むので、周りが対処法を知っていると認知症の改善もあります。町の福祉対策に組み込み、外からサポートしていく事は理想と考えます。町長の考えをお聞かせ下さい。

町長 民間レベルでの取り組み状況につきましては、今のところ把握はしておりませんが、仮に認知症の名簿が必要とあれば、個人情報との関係もありまして、無理ではないか。在宅介護、あるいは施設等での介護が現時点では重要だと思っております。

若い世代の意見を町民アンケート調査に反映させるには

問 従来からのアンケート調査ですと、主に世帯主の意見であります。子育てや働き盛りの方々は、それぞれに考えが有りまして、各団体や審議会に参加することは難しくなっています。田上町のメール配信システムにはアンケート機能が装備されています。統計学上、全国規模のアンケートでも2千件で十分とされています。ましてや田上町の意向調査をするのに登録数は申し分無い数字となりました。若い世代の意向を拾ううし、防災連絡用としても、多くの方に登録して頂きたいところです。今後、意向調査の一つとしてお考えにありませんか。

光ファイバーについて

町長 一般のアンケート調査とは別に、一つの調査結果として参考にする意義はあると思いますので、必要に応じて活用していきたいとは思っております。

問 遂に光ファイバーが無いのは県内で田上だけとなりました。ADSLで十分とか、家には関係無いと考えている方も多様です。しかし、地デジ対応テレビやパソコンを購入しようとか、電ショップに行かれた田上町民は、価格割引に不利益を感じているはず。この状況は本地上工業団地誘致にも、マイナス要因と考えられます。全ての地区に「光ファイバー」の恩恵を受ける権利があり、通話料がお得

な「ひかり電話」や便利な「ひかりTV」も利用可能になります。商工会でも活動していますが、メリットをいかに理解して頂くかが鍵となります。一部地区で可能になるとの話もありますが、田上全体に普及する目処は立っていません。今後の見通し、展望をお聞かせください。

町長 「光」は様々な分野で必要不可欠となり、企業においても死活問題であります。加茂交換局範囲の坂田、上吉田、川船河、清水沢の一部の地域には、「あと100件程度の仮申し込みが確保できれば整備可能」とNTTより再度話がございました。商工会と協議し、4月早々に「田上町光ファイバー網整備促進協議会」設立を決定致しました。それぞれの関係者から協力いただき、世帯訪問で仮申し込みを募ることも視野にあり、具体的な内容は協議会の設立総会後になります。

平成22年度
予算審査特別委員会



▲吉田委員長

▲川口副委員長

当委員会に付託された議案は、新しい竹の幼児園の新設に関わる条例の制定や幼稚園跡地の利用に係る交流センターの名称及び生涯学習センター建設のための基金条例、職員の定数条例等のほか一般会計予算、特別会計の予算案など20案件でありました。

審査は4日間行なわれ各担当課長の説明ののち活発な質疑が行なわれました。又、審査の中で町長の見解を求める件数が9件取り上げられこれにも熱のこもった討論が行なわれ実のある審査だったと思っております。

最終日に討論・採決を行ないました。一部の議案について意見が出されましたが、全議案賛成多数で可決されました。

永年の懸案であった幼稚園教育の拠点となる竹の友

幼稚園が竣工・開設を迎え町の12ヶ年教育のスタートがされた事は喜ばしい限りであります。

4日間の審査の中で事業予算全額、将来展望等について議論が交わされました。

- 交流人口増を目指しているが積極的な方策はないのか。
- 雇用の不安実態があるが町独自の対策をどう考えるか。
- 地元の商工業等を支援をして町の活性化につなげたい。
- 国保税、介護保険等の展望と広域運営について
- 少子・高齢化の現実があるが医療を含む施設の問題等多くの提案がありました。

委員長 吉田昭一

予算案総括質疑

予算審査特別委員会は審査の最終日、町長に対する9件の総括質疑をおこないました。

◎田上町原ヶ崎交流センターの名称について

問 名称に「原ヶ崎」が付くと「町」というよりも「地区」と間違えられる可能性があり名前を変更したらよいのではないかと。

町長 「原ヶ崎」という呼び方には、運動広場、原ヶ崎堤ということで町民に長く親しまれており、愛称をつけて呼ぶようにします。

◎ふるさと納税について

問 百万円ほどの納税があったと聞いていますが、納税者を増やす対策は？

町長 これは寄付金のため強制できるものではありません。ふる

◎下水道事業の今後について

問 下水道コスト縮減検討業務委託との関連で今後の方向性は？

町長 公共下水道を進めるためには多くの費用が掛かり、難しい問題です。新潟市から、こちらに繋がらどうかという話もあります。合併浄化槽推進という国の方針もあり、今後とも検討していく課題です。

町長 辞令交付時に伝達し、課長から話してもらっています。今後でも漏えいのないように対処していきます。

◎経営事項審査と入札指名について

問 経営の必要性は業法で定められたものであり、的確に対応することが町内業者の育成につながるのでは？

町長 企業の側の努力も必要であり、商工会ともよく相談してゆきます。



▲予算審査特別委員会

さと田上会の人たちへの呼びかけを強めるなどしていきたいと思っております。

◎田上の観光事業について

問 09年には、国体、「天地人」等があり、デスティネーションキャンペーンが実施されました。10年度は企画もない田上の観光として、多面的に、複合的に取り組むと効果的なのでは？

町長 田上には湯田上温泉など素晴らしい温泉があり、筍・梅など美味しい食べ物があり、観光協会、旅館組合の皆さんと話し合い、協力して知恵を出していきます。

◎国保税・介護保険について

問 国保税と介護保険の展望と広域運営については？

町長 今、国保税の高齢者一人を若い人が四人で支えています

が、将来は二人で支えることになりません。

介護保険も困難が予想され、一部事務組合を大切にし、広域化についても研究していく必要性があると思っております。

◎臨時職員の守秘義務について

問 業務上知り得た個人情報について、正職員相当の守秘義務を求める対策は？

町長 辞令交付時に伝達し、課長から話してもらっています。今後でも漏えいのないように対処していきます。

◎町当局と社協との関係について

問 町住民と深い関わりを持つ社協との今後の自立支援を含めた方針と関わり方は？

町長 以前より社協の状況は確認できています。あくまで社

総務 産 経

〈3月9日〉

〈専決処分〉

◆議第1号 平成21年度田上町一般会計補正予算(第10号)について

説明 除雪経費に不足が生じる為に2月5日付けで741万円を補正するもの

承認

〈条例の制定〉

◆議第2号 田上町本田工業団地工場設置促進条例の制定について

◆議第13号 田上町工場設置促進条例の廃止について

説明 本田上工業団地へ企業誘致の促進を図る為の条例制定

〈町道〉

◆議第16号 田上町道路線の認定について

◆議第17号 田上町道路線の変更について

説明 才歩川・山田川改修工事に伴う町道9路線の変更及認定

〈補正予算〉

◆議第18号 平成21年度田上町一般会計補正予算(第11号)議定について中

第1表 歳入

第1表 歳出の内

- 2 款 総務費(1、4、5 項)
- 5 款 労働費
- 6 款 農林水産業費
- 7 款 商工費
- 8 款 土木費
- 9 款 消防費
- 11 款 公債費

第3表 繰越明許費(2 款 6 款 7 款 8 款 9 款)

第5表 地方債の補正

説明 既定の総額から歳入歳出それぞれ4千16万5千円を減額して51億2千713万円とするもの。歳入と歳出の各款は係数整理と事業確定が主なもの

◆繰越明許費は経済危機対策臨時交付金がきめ細かな臨時交付金事業に変更。

五社川転倒堰工事509万円、庁舎電話機交換工事772万7千円、湯つ多里館工事1千974千円。

才歩川防護柵設置工事と橋梁点検業務で1千56万3千円、消火栓設置工事487万2千円、防災対策事業426万円を22年度に持ち越すための措置

◆地方債は地方道路等整備事業債1千400万円を補正して総額を1千900万円とするもの

◆議第19号 同年度田上町下水道事業特別会計補正予算(第3号)議定について

◆議第20号 同年度田上町集落排水事業特別会計補正予算(第1号)議定について

いずれも原案可決

委員長 泉田壽一



▲国道403号バイパス開通式

社会 文 教

〈3月10日〉

〈条例の一部改正〉

◆議第12号 田上町後期高齢者医療に関する条例の一部改正について

平成22年度以降における保険料の徴収を、現行の徴収方法と同じように暫定賦課をしないという改正です。

1年の保険料を9期に分けて徴収することになります。

原案可決

〈補正予算〉

◆議第18号 平成21年度田上町一般会計補正予算(第11号)議定について中

第1表 歳出の内

- 2 款 総務費 (1 項 (町民課の所管) 2 項、3 項)
- 3 款 民生費、
- 4 款 衛生費、
- 10 款 教育費

いずれも事業の確定や請負差額、利用者の減などによる減額補正です。

第2表 継続費補正

戸籍住民基本台帳費(データ作成費)を5千29万5千円を減額し2千362万5千円とするものです。

第3表 繰越明許費

3 款 民生費

きめ細かな臨時交付金事業936万4千円は、川船河の老人福祉センターの浴槽や大広間の改修などです。

子ども手当事業283万5千円は、新年度から始まる事業への繰越し。

幼児園建設事業4千8万9千円は、外構工事や遊具設置のためです。

10 款 教育費

教育施設整備費9千417万円は武道場建設のためです。きめ細かな臨時交付金事業

1千89万円は、田上小キョービクル交換、田上中学校体育館ステーション裏防水工事、護摩堂山歴史看板設置工事など。

原案可決

◆議第21号 同年度田上町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)議定について

既定の総額から歳入・歳出1千249万7千円を減額して12億8千644万2千円とするものです。

原案可決

◆議第22号 同年度田上町介護保険特別会計補正予算(第3号)議定について

既定の総額から歳入・歳出それぞれ2千354万5千円を減額して8億9千106万3千円とするものです。

原案可決

委員長 斎藤 勲



▲武道場地填祭

常任委員会のうごき
所管事務調査報告

総務 産 経

期 日 平成22年2月24日

○総務課

●平成21年度工事入札結果について

Q 落札率100%が3件あるが随意契約によるものか？

A 入札が不調の為に随意契約により成立した結果です。

Q 落札率の平均が98.8%は異常ではないか？

A それは設計業者も工事業者も同じキヤドでパソコンを使って積算されている結果だと思われる。落札率は93%程度が適正と考えます。

○地域整備課

●除雪状況について

Q 歩道除雪は20cmを目途に実施になっているが子供たちの通学時間帯前に実施する

必要がある。その為に排雪よりクローラーで踏み締めることで効率を上げる事が必要では？

A 県当局とも相談して検討します。

●平成21年度工事発注状況について

Q 工事の地区要望数と採択数の状況は？

A 平成21年度地区要望数は109件で採択数は19件です。

○産業振興課

●生産調整と戸別所得補償制度について

Q 米政策改革を関係農家から理解を得る必要がある。

A 町内全区で説明会を開催している。戸別補償予算は5千600億、自給率は40%から50%へ向上。田上町独自の転作助成金は前年度と同等にしたいと考えています。
●湯つ多里館の利用状況
●指定管理施設の状況

その他多くの質疑がありました。したが紙面の都合で掲載できないことをご理解ください。

委員長 泉田壽一

社会 文教

期 日 平成22年2月18日

○町民課

県の指導により悪質な税の滞納者対策のため、新潟県 地方税徴収機構が結成されたがその成果は135件、172万1千247円でした。

平成22年度より市町村の税制が変わります。主に子ども手当が支給されることで16才未満の33万円の控除が無くなります。たばこ税が市町村で10月から1千本あたり現行3千298円を1千320円引き上げる、等です。
国民健康保険税は支払い準備基金が5千万円くらいになりそうなので、値上げの予定はないとのこと。

○保健福祉課

介護保険が昨年の4月、10月と2回変わったがその影響を質しました。経過措置がとられたため大した影響はないとのこと。特定検診の対象者は3千31人、受信者は1千246名、41.1%で今後も対策が必要です。

康養園が古くなり、周辺に新しい施設が開設され利用者が減っています。今後の対策が急がれます。

○教育委員会

家庭の収入と小中学生の学力の関係を質しました。結論は殆ど変わりがないとのこと。また教師も気と心を配っているとのこと。

教員の繁忙具合を質しました。大体2時間くらい残っているとのこと。またパソコンなどによる個人情報漏えいに神経を使っているとのこと。また保護者の要望と対応にも苦慮することもあるそうです。



▲燕市「こどもの森」を委員会で視察

来年度の中学生の入学は155名で、他の中学校への入学は8名です。

○燕市「こどもの森」視察

竹の幼稚園の跡地利用の参考のため、燕市の「こどもの森」を視察しました。様々なボランティア団体が参加して活発な活動をしています。

昨年度の利用者は6万9千321人、1日平均225人とのことで、今後の活用に大変参考になりました。

委員長 斎藤 勲

一部事務組合議会報告

平成22年度田上町分組経費分担金 単位:千円

区 分	人 口(人)	13,064
	入所者(人)	4
施設運営費分	均等割20%	945
	入所者30%	355
	人口割50%	575
	計	1,875

※人口は平成21年10月31日現在の住民基本台帳の数値です。

○平成22年度歳入歳出予算の総額をそれぞれ2億3千133万6千円と定めた。

期 日 平成22年2月16日
場 所 三条市役所

三条市・西蒲・南蒲広域
養護老人ホーム施設組合

平成22年度田上町分組経費分担金 単位:千円

区 分	人 口(人)	13,363
	利用者数(人)	4
経常費割	均 等 割	2,000
	人口割 55/100	1,887
	利用者割 45/100	1,569
計		5,456

※人口は平成17年度国勢調査の数値です。

○平成22年度歳入歳出予算の総額はそれぞれ3億5千30万円とする。

期 日 平成22年2月25日
場 所 まごころ学園

新潟県中越福祉事務組合

平成22年第一回定例会

後期高齢者医療広域連合

2月定例会報告

期 日 平成22年2月27日
場 所 新潟県自治会館

主な内容は条例の一部改正、新たに財政調整基金条例の制定、平成21年度一般会計・特別会計の補正予算。平成22年度一般会計・特別会計予算などが提案されましたが、全議案が賛成多数で可決・承認されました。
特に注目されるのは、来年度は2年間の保険料の改定を定める年度ということです。利用料から計算すると一人平均で3千76円アップしなければなりません。しかし平成20年度の積立金を2年間で26億円繰り入れることにより、現行どおりとし、一人当たりの保険料は6万858円ということになりました。またその他にも所得による軽減措置もあります。

組合議員 斎藤 勲

議員の活動あれこれ

3月定例会は3月4日から始まりました。提出された33議案を全議員で慎重に審議をし、平成22年度予算を成立、3月19日に終了することが出来ました。

21年度は緊急経済対策などの助成により、町民の皆さんから喜んでいただける事が数々ありました。

何と10年以上も検討されながらようやく完成されました竹の友幼稚園が3月25日に竣工式を迎えることができました。又、田上の子供は田上町で育てようをモットーに武道場建設も始まります。賢く元気で丈夫な子供は、町の大事な宝物です。羽生田小学校、田上小学校の生徒さんは、心はずませて中学校へ進学されました。中学校では義務教育を修了し、それぞれの希望を持って卒業されました。3月21日成人式には129名の新成人が誕生致しました。

子供達の成長を心から喜び、将来の幸せを祈る昨今でした。

▶ 竹の友幼稚園竣工式



◀ 羽生田小学校卒業式



田上の子供は
田上町で育てよう



◀ 田上中学校卒業式



▶ 田上小学校卒業式



▶ 成人式



◀ 武道場建設地鎮祭

お知らせ

6月定例会初日の予定

6月23日(水)

委員長 渡邊 正策
副委員長 中野 和美
委員 塚野 一二三
委員 斎藤 勲
委員 泉田 壽一
委員 川口與志郎

(中野 記)

竹の友幼稚園が完成し、幼稚園建設特別委員会です。一つ一つ協議してきたことを懐かしく振り返っています。

色々な事がありました。けっしてスムーズとは言いませんでした。完成した幼稚園を見て触れて、我が子がもう一人生まれたかの如く、大きな慶びです。

これから、田上の子供たちが元気に遊び、学ぶ姿が目に見えます。健やかな成長を望みます。

子供たちを皆で心をついに、見守り支え合う。そういう拠点に成っていくことでしょう。

編集後記